

赤谷プロジェクト近況報告

「赤谷の日」の炭焼き



炭焼きの様子

平成17年度から実施している炭焼き体験を12月6日(土)、7日(日)の「赤谷の日」に赤谷プロジェクトの活動拠点「いきもの村」に設置してある炭窯において実施しました。

この炭焼き体験は、赤谷プロジェクトのテーマの一つである「伝統技術の継承」を目的として行っており、今回はサポーターが中心となり、地元の炭焼き名人の笛木さん、林さんの助言を頂きながら、「いきもの村」に生えていたニセアカシアを利用して、炭焼きに併せて新たに木酢液の採取に挑戦しました。



木酢液の作成

炭焼き体験、出来上がった炭や木酢液については、サポーターの方々と相談しながら、環境教育、里山と人とのつながり、地元の人との交流のきっかけづくりなど赤谷プロジェクトの活動の中で活用していきたいと考えています。

自然環境モニタリング会議の開催

12月9日(月)に平成20年度第1回自然環境モニタリング会議が開催されました。この会議は、「赤谷の森」における植生管理や猛禽類の調査など多方面にわたる調査内容を統括し、赤谷プロジェクトの活動について科学的立場から助言していくために設置・開催されています。

今回は、科学的根拠に基づき生物多様性復元に取り組むため、平成16年度に策定された赤谷プロジェクト「自然環境モニタリング基本方針」の進捗状況と課題、次期地域管理経営計画への赤谷プロジェクトの成果の反映等について話し合われました。

その中で、「モニタリングが単なる生態調査に終わらないようモデル性を意識すべき。」また、「限られた人的資源や時間的制限の中で調査内容に優先順位をつけるべき。」「次期地域管理経営計画策定にあたって地域の方々への周知の手法についてよく検討すべき。」などの意見がありました。

特に、赤谷プロジェクトの成果をどのように次期地域管理経営計画に反映させていくかは、来年度にかけての重要な課題であり、引き続き議論を深め検討を進めたいと考えております。



亀山座長を囲んでの議論

千葉森林管理事務所との連携



高原千葉村での打合せ

千葉森林管理事務所とは上下流交流の取組の一環として、環境教育の分野で連携しており、毎年、千葉市内の中学生を対象に千葉森林管理事務所でも森林・林業に関する事前教育を行った後、「赤谷の森」で赤谷プロジェクトをテーマとした環境教育を行っています。

このため、12月15日(月)、16日(火)に千葉森林管理事務所担当者が赤谷プロジェクトの活動拠点である「いきもの村」等の視察や千葉市の施設「高原千葉村」で、千葉村担当者や赤谷センター職員と来年度の環境教育実施に関する打合せを行いました。